

○高温による被害と産地毎の取組事例

都道府県	露地・施設	原因	症状	対策	普及状況	指導体制	問合せ先
新潟県	露地	8～9月の高温・少雨 (6～8月)	・高温による定植後の活着不良、枯死、生育遅延(発芽不良、生育遅延)	・スーパーセル苗の利用(底面かん水育苗の実施) 	・スーパーセル苗の利用により干ばつ被害が軽減(育苗時のかん水遅れによる生育障害、枯死等の被害軽減及び省力化が可能)	普及指導員と産地が連携し、高温対策に向けた取組や実証試験を実施している。	新潟県農林水産部 農産園芸課 TEL:025-280-5297
富山県	露地	生育期(9月)の高温・乾燥	・チップバーン(カルシウム欠乏症)の発生 	・硫酸カルシウム入り肥料の追肥等によるカルシウムの増肥 ・ほ場ごとの内部褐変症発生リスク診断に基づく発生防止対策の実施	水溶性の硫酸カルシウム入り肥料を追肥に用いた施肥体系や内部褐変症発生リスク診断に基づく発生防止対策をマニュアルに記載するとともに、研修会等で紹介	JA・県等が高温対策に向けた現地実証ほを設置している。	富山県農林水産部 農産食品課 TEL:076-444-3284
和歌山県	露地	定植時期、生育初期(9～10月)の高温、干ばつ	発芽不良、初期生育不良 チョウ目(ハイノマダラメイガ、シロイチモンジヨトウ)の被害増加	・適切なかん水 ・適期防除		JAおよび各振興局の現地巡回による営農指導	和歌山県農林水産部 農業生産局 果樹園芸課 TEL:073-441-2904
島根県	露地	秋冬作型の育苗期(7～8月)の高温	・生育の停滞 ・苗品質の低下(徒長、根鉢形成不足)	・育苗ハウスの遮光率を高める ・ハウスサイドの防虫ネットの目合いの見直し ・循環扇の設置 	・JA育苗施設で実施	県農業普及員、JA営農指導員による現地指導	島根県農林水産部 産地支援課 水田園芸係 TEL:0852-22-6286
		定植期(8月上中旬)の高温、小雨	・活着不良による枯死、生育不良	・簡易スプリンクラーによる頭上かん水 ・畝間かん水	・用水を確保できるほ場で実施	県農業普及員、JA営農指導員による現地指導	
岡山県	露地	育苗～生育期(8～9月)の高温・少雨	・定植期の高温による活着不良 ・高温乾燥による生育の遅れ ・ヨトウ類の食害	・定植時期を後ろ倒し ・かん水の実施 ・適期防除	・おおむね実施されている。	JAと県が連携し、講習会等により周知をしている。	岡山県農林水産部 農産課園芸振興班 TEL:086-226-7425